

令和 4 年度 提案型事業評価・職員提案まとめ

第 1 提案型事業評価

1 調査・検討

令和 4 年度の行政改革推進本部で決定された当該年度の検討対象事業（3 件）について、調査・検討を行った。調査・検討に当たっては、所管課から提出された詳細調書に基づき、行政改革庁内会議委員の意見を参考に、行政改革推進班にて協議を進めた。その結果について、以下のとおり取りまとめた。

2 今後の方向性及び意見（取組年度別）

各事業に対する今後の方向性及び意見については、次のとおり。

(1) 令和 4 年度から取り組むもの 3 件

（実際に改善等を行う時期ではなく、取り組み始める年度を指す）

ア ハザードマップ活用アプリによる防災情報の提供

【今後の方向性】 改善

【意見】

既存の災害情報アプリ等の活用について更なる周知を図ることで、市民の安全安心の確保と利便性の向上を図ること。

イ 地区自治振興会に対する各種依頼事項の見直し

【今後の方向性】 改善

【意見】

各地区自治振興会への依頼事項の洗い出し・見直しにより、地区自治振興会の負担軽減につなげること。

ウ 内部文書処理等に係る押印廃止やペーパーレス化の推進

【今後の方向性】 改善

【意見】

文書管理システムの新規導入も視野に、デジタル化による押印廃止及びペーパーレス化を進めること。また、請求書等の押印廃止に向けた検討を進めること。

第2 職員提案

1 職員提案の調査・検討

行政改革・事務改善に関する職員提案の自由提案に加え、課題提案として、「市民サービスの向上に資するデジタル化の推進」を募集したところ、全部で27件(昨年38件)の提案があった。全ての提案について、関係課及び行政改革庁内会議委員の意見を参考に、行政改革推進班にて協議を進めた。その結果について、以下のとおり取りまとめた。

(1) 今年度から取り組むもの	3件
(2) 担当課等の検討及び調査後、翌年度中の実施に向け取り組むもの	7件
(3) 今後引き続き担当課等において検討するもの	12件
(4) 実施済みのもの	0件
(5) 実施しないもの	5件
	計 27件

2 調査・検討の結果

職員提案に対する主な意見の概要は次のとおりである。

(1) 今年度から取り組むもの 3件

ア 明るい砺波市。庁舎の電灯点けませんか。

⇒ 全庁的な節電対策は継続したままで、来庁者の出入りが多い本庁舎1、2階の通路等について全点灯とすること。(取組済)

イ 掲示板を綺麗に見やすく

⇒ 掲示場内の区割りや掲示期間の周知及び定期的に整理整頓を行うこと。(取組済)

ウ アイデアボックスの創設

⇒ 通年で職員提案を受け付けられる体制を整備すること。(取組済)

(2) 担当課等の検討及び調査後、翌年度中の実施に向け取り組むもの 7件

ア 全職員同じ作業服に(男女別作業服の廃止)

⇒ 社会情勢や発注効率化などの観点から、令和5年度の更新時に向け、男女共通のデザイン導入を検討のこと。

イ 補助金申請のオンライン化

⇒ 「富山県電子申請サービス」や「マイナポータル」の有効活用を検討のこと。

ウ 分かりやすい砺波市のお悔やみお手続き

⇒ 手続きの利便性向上や、事務効率化につながる改善策を検討のこと。

エ お悔やみの手続きをHPでまとめ読みできるようにしよう

⇒ 市HPのトップページからアクセス可能な「お悔やみ」のワンストップページを作成するなど、遺族の方への周知に努めること。

オ 請求書への押印がなかった場合の代替措置の構築

⇒ 請求書の押印廃止について運用方法を定め、周知し、令和5年度から実施すること。

カ 効率的で、内容の濃い会議に

⇒ DX推進の議論と併行して一定のルール化について検討のこと。

キ その他1件

(3) 今後引き続き担当課等において検討するもの 12件

ア 攻める職員採用試験

⇒ 採用申込が少ない職種を中心に、原因の分析や他自治体の事例も参考にしながら検討のこと。

イ 市内公共施設や施設の空きスペースの有効活用について、幅広く一般の方や民間事業者から提案募集を行う

ウ 公共施設におけるキッズコーナーの創設

⇒ 他自治体の事例を参考に、各種団体や民間事業者に意見聴取を行うなど、調査・検討のこと。

エ 開発行為における関係公共施設管理者との協議のワンストップ化

⇒ メリット・デメリットを踏まえ検討のこと。

オ 循環型社会への一歩 広報誌、封筒などの市配布物にリサイクルマークの印字

⇒ 循環型社会を推進する観点からリサイクルや環境に優しいインクの使用など、他自治体や企業の取組みも参考に検討のこと。

カ その他7件